

## 平成 24 年度 日本水産工学会学術講演会プログラム

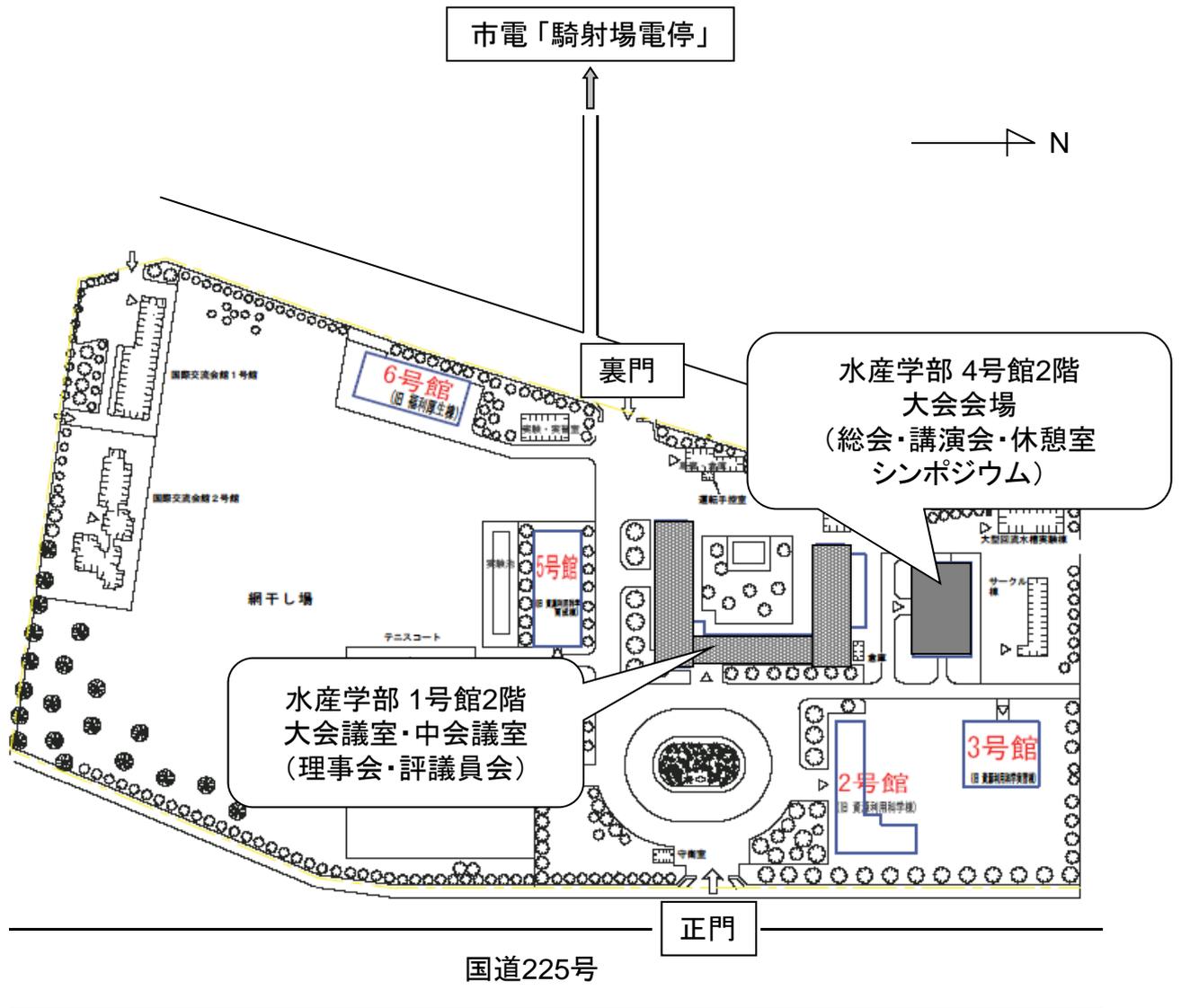
平成 24 年 5 月 18 日 (金) ～5 月 20 日 (日)

会場	
総会・一般講演	鹿児島大学水産学部 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20
懇親会	ホテルウェルビューかごしま 〒890-0062 鹿児島市与次郎 2 丁目 4-25 (TEL : 099-206-3838)
シンポジウム	鹿児島大学水産学部 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20 (TEL : 099-286-4111)
日程	
5 月 18 日 (金)	
11 : 00～12 : 00	理事会 (1 号館中会議室), 評議員会 (1 号館大会議室)
13 : 00～14 : 00	総会・学会賞授賞式 (4 号館 23 号教室)
14 : 00～15 : 00	学会賞受賞者講演 (4 号館 23 号教室)
15 : 15～17 : 30	一般講演 第 1 会場 (4 号館 23 号教室), 第 2 会場 (4 号館 22 号教室)
18 : 30～20 : 00	懇親会 (ホテルウェルビューかごしま)
5 月 19 日 (土)	
9 : 30～12 : 00	一般講演 第 1 会場 (4 号館 23 号教室) 第 2 会場 (4 号館 22 号教室)
13 : 00～17 : 00	一般講演 第 1 会場 (4 号館 23 号教室) 第 2 会場 (4 号館 22 号教室)
5 月 20 日 (日)	
9 : 20～15 : 15	日本水産工学会春季シンポジウム 浮魚礁漁業の現状と課題 (23 号教室) 1. 浮魚礁漁業の現状 2. 浮魚礁の水理機構と魚群の行動

### 講演発表に関する注意とお願い

- ・ PC プロジェクターを使用した講演とします。使用する PC は大会側が準備します。使用するソフトは Power Point 2010 (Windows 版) です。個人の PC による発表はご遠慮下さい。
- ・ ご自分のファイルの動作確認は、休憩室 (21 号教室) にテスト用 PC を準備しますので、発表前にご自身でご確認下さい。
- ・ 講演会場では PC を 2 台切り替えて使用します。ご自分のファイルは、前の講演中に会場の PC にコピー願います。
- ・ 1 課題あたりの講演時間は、発表 12 分・質疑応答 3 分の合計 15 分 (交代時間も含む) です。時間厳守のほど願います。
- ・ 講演開始から 10 分で予鈴 (1 回), 定刻 12 分で終鈴 (2 回) を鳴らします。その後は 1 分超過毎に鈴を鳴らします。
- ・ 活発な質疑応答を望むところですが、発表時間に制限がありますので、さらなる質疑は各発表の合間あるいは、懇親会会場などにおいて個々に行っていただきますようお願いいたします。

# 大会会場案内図



## 第1会場 (23号教室)

5月18日(金)

(発表12分, 質疑応答3分, ○: 講演者)

- 15:15 101 人工マウンド礁におけるマアジの標識放流を用いた効果範囲について  
○伊藤靖・松本卓也(漁港漁場漁村技術研究所)・中村憲司・吉田司(株)シャトー海洋調査)
- 15:30 102 鹿児島県阿久根地先の人工マウンド礁における超音波バイオテレメトリーを用いたマアジの行動について  
○伊藤靖(漁港漁場漁村技術研究所)・中村憲司・吉田司(株)シャトー海洋調査)
- 15:45 103 鹿児島県笠沙町崎ノ山の造成藻場はなぜ長期間, 広域に維持, 拡大したのか  
○川俣茂(水研セ・水産工学研究所)・吉満敏・田中敏博(鹿児島県商工労働水産部)  
徳永成光・久保満(鹿児島県水産技術開発センター)
- 16:00 104 鹿児島県内之浦地区の磯焼け海域におけるイセエビ増殖礁実証実験について  
西園末博・上村昭一・○濱脇大輔(内之浦漁業協同組合)  
川畑三彦・園部幸治・鈴木裕明(住友大阪セメント(株))  
前田一己・税所誠一(鹿児島共和コンクリート工業(株))  
吉村拓(水研セ・西海区水産研究所)
- 16:15 105 コンクリートがらの漁場施設への適用性に関する検討  
伊藤靖・不動雅之・○綿貫啓・田中浩生(漁港漁場漁村技術研究所)  
酒井貴洋・保木本智史(五洋建設(株))
- 16:30 106 貝殻魚礁におけるオニオコゼの蛸集事例  
○小川佳久・片山真基・井上弘之(海洋建設株式会社)・田平雄二(苓北町農林水産課)  
福島築廣(天草漁業協同組合)・伊藤靖(漁港漁場漁村技術研究所)
- 16:45 107 貝殻魚礁漁場の利用実態について  
○藤澤真也・笹原昭・片山真基(海洋建設(株))・宮本利文(長崎県漁業協同組合連合会)  
伊藤靖(漁港漁場漁村技術研究所)
- 17:00 108 資源変動を考慮した漁場整備の効果評価方法について  
伊藤靖・○松本卓也(漁港漁場漁村技術研究所)・麓貴光(株)水土舎)
- 17:15 109 人工マウンド礁内部の効果範囲および効果の定量化  
○伊藤靖・松本卓也(漁港漁場漁村技術研究所)・吉田司・當舎親典(株)シャトー海洋調査)

5月19日(土)

午前

- 09:30 110 密度成層流における人工湧昇流の可視化実験  
永松哲郎・中村啓彦(鹿児島大)・野元達美(鹿児島ドック鉄工(株))  
○須本祐史・中尾智(鹿児島大)
- 09:45 111 人工マウンド礁とテーパ型浮魚礁の複合配置による湧昇漁場効果の促進  
○山川徹(福井県大大学院)・瀬戸雅文(福井県大)

- 10:00 112 大水深における湧昇マウンド礁造成技術について  
 高原裕一・松尾義雄・浅見能章・松本弘（水産庁）  
 江口正勝・○本田陽一・十時国土（間組）
- 10:15 113 成層流下における鞍状地形の湧昇効果  
 ○大竹臣哉・辻橋はるか（福井県立大）・安藤亘（水産土木建設技術センター）  
 桑原久美（水産工学研究所）・綿貫啓（㈱アルファ水工コンサルタンツ）
- 10:30 114 魚礁計画にかかわる魚礁配置の流れへの影響  
 ○大竹臣哉・渡辺賢太（福井県立大）
- 10:45 115 刺網が対象とする魚礁蛸集魚量の推定法  
 ○山内繁樹・峰寛明・林田健志・武田康孝（㈱エコニクス）  
 清水晋・藤森康澄・木村暢夫（北海道大大学院）
- 11:00 116 長崎県壱岐のノトイズズミを効率良く刺網で漁獲する方法  
 ○桑原久実（水研セ・水産工学研究所）・南里海児（ベントス）  
 山仲洋紀（壱岐栽培センター）
- 11:15 117 牽引式アサリ稚貝吸引装置の開発  
 ○桑原久実・南部亮元（水研セ・水産工学研究所）・岡本博（日本アスピー）  
 鈴木義行（前興）・水野知己（三重県水産研究所）
- 11:30 118 磯焼け海域における未利用ウニの有効利用についての考察  
 ○安藤亘（水産土木建設技術センター）・阿部拓也・小笠原勝（宇都宮大）
- 11:45 119 ウニ除去実験に基づくウニ移動の解析  
 ○川俣茂（水研セ・水産工学研究所）・田井野清也（高知県水産試験場）

## 5月19日（土）

### 午後

- 13:00 120 北方海域の港湾構造物背後における稚ナマコ生息場の一考察  
 ○村上俊哉・田保知佳（㈱エコニクス）・松野健（北海道開発局）  
 岡元節雄・山本潤（土木研究所）
- 13:15 121 衛星画像を用いた底質特性の把握と水産有用種との関係  
 ○梶原瑠美子（水研セ・水産工学研究所）・大石直樹（阿久根市）  
 南部亮元・桑原久実（水研セ・水産工学研究所）
- 13:30 122 数値模型実験を用いた駕莫湾の堆積環境特性と底質汚染との相関性  
 ○李文沃（全南大学校）・朴晟鎭（Geosystem Research）
- 13:45 123 魚類による食圧の高い海域でのアントクメを母藻とした核藻場造成について（その2）  
 鈴木裕明・○川畑三彦・園部幸治（住友大阪セメント㈱）  
 久木野友和・早川晋一・内田佳孝（九州電力㈱）  
 山下好則・安部正（西海大崎漁業協同組合）・宮原孝志（西海市役所）
- 14:00 124 2011年秋季の瀬戸内海におけるアイゴによる藻場への食害状況ー特にアマモ場について  
 食害の程度と群落衰退との関係ー  
 ○吉田吾郎・堀正和・島袋寛盛・浜口昌巳・寺脇利信（水研セ・瀬戸水研）  
 森口朗彦（水研セ・水産工学研究所）・元谷剛（岡山水研）  
 藤原宗弘（香川水試）・相田聡（広島水技セ）・平田伸治（愛媛水研セ）

- 14:15 125 コンクリート製藻礁の核藻場機能低下要因について  
○徳永成光・久保満・塩先尊志（鹿児島県水産技術開発センター）  
吉満敏（鹿児島県商工労働水産部）・川俣茂（水研セ・水産工学研究所）
- 14:30 126 金浦漁港沖防波堤マウンドにおける藻場造成一第2報 藻場の形成と水産生物の利用状況一  
伊藤靖・○三浦浩（漁港漁場漁村技術研究所）・吉永聡（㈱水土舎）  
今野正人・伊勢谷仁（秋田県）
- 14:45 127 真名瀬漁港<自然調和型沖防波堤>における藻場の変遷と効果  
○三浦浩・小島大典・伊藤靖（漁港漁場漁村技術研究所）  
綿貫啓（㈱アルファ水工コンサルタンツ）・青木聡（葉山町都市経済部）
- 15:00 128 藻場造成装置（カートリッジ及びカートリッジ受け具）の開発 第2報  
平面型カートリッジへのアラメ・アカモク着生  
○伊藤勝一（三省水工㈱）・田所悟（㈹自然環境調査）・酒元誠・富永準（三省水工㈱）  
中嶋泰（オフィスMOBA）・桑原久実（水研セ水産工学研究所）
- 15:15 129 能取湖における貧酸素水塊挙動診断によるホタテガイ種苗リスク管理技術の開発  
○井上佑奈（福井県大大学院）・瀬戸雅文（福井県大）・渡部貴聴（網走市）  
川尻敏文（西網走漁組）・巻口範人（北海道栽培公社）
- 15:30 130 ズワイガニ数値幼生を用いた浮遊動態探索技術の開発  
○瀬戸雅文（福井県大）・小西望美（福井県大大学院）  
山本岳男（水研セ・日本海区水産研究所）
- 15:45 131 ポーラスメディアを用いた稚ナマコ人工種苗の粗放的放流技術の開発  
○瀬戸雅文・向平有希・村上詩織（福井県大）・巻口範人（北海道栽培公社）
- 16:00 132 リンケタイラギが利用する海底直上水の高さの推定  
○鈴木健吾（水研セ・西海区水産研究所）
- 16:15 133 サンゴ浮遊幼生ネットワーク評価手法の開発  
○白木喜章・山本秀一（㈱エコー）・安藤亘（水産土木建設技術センター）  
三上信雄（水産庁漁港漁場整備部）
- 16:30 134 人工サンゴ増殖礁の開発  
○安藤亘・中村良太（水産土木建設技術センター）  
山本秀一（㈱エコー）・梅津健夫（水産庁）
- 16:45 135 干潟改善による資源造成効果と環境要因の変化  
○Baek sang-ho・Kim ho-sang・Kim wan-ki・Park sang-un  
Kim sang-gyu（韓国水産資源管理公団）

## 第2会場 (22号教室)

5月18日 (金)

(発表 12分, 質疑応答 3分, ○: 講演者)

- 15:15 201 流れの中に置かれたかごに対する魚の行動  
○姜京範・穴井正希・不破茂・江幡恵吾 (鹿児島大)・金碩鍾 (済州大)
- 15:30 202 漁獲過程の差異による品質劣化指標物質の変化  
土屋善史 (熱海高校)・○山口恭弘・橘勝康・北井悠佑・山下敬彦 (長崎大)
- 15:45 203 目合の大きさが網地の沈降速度に与える影響  
○江幡恵吾・渡辺貴則・不破茂 (鹿児島大)
- 16:00 204 The sinking speed of purse seine lead line  
○Budiman Johnny, Katiandagho Eloh Machten, Telleng Aglius Triganus Recky,  
Manoppo Lefrant (Sam Ratulangi University)  
Tumbal James Lourintus (Institute Technology of Minaesa)
- 16:15 205 ヒラツメガニの混獲防除を目指したグランドロープの改造実験  
○有田洋一 (鹿児島大かごしま丸)・江幡恵吾・不破茂・三井健二郎 (鹿児島大)  
東政能・幅野明正・東隆文・牧野文洋 (鹿児島大かごしま丸)
- 16:30 206 新型オッターボード(HLTD)を用いた燃料消費特性  
○溝口弘泰・藤田薫・山崎慎太郎・長谷川誠三 (水研セ・水産工学研究所)  
岡崎孝博・上田幸男 (徳島農水総技セ)・熊沢泰生 (ニチモウ㈱)・胡夫祥 (海洋大)
- 16:45 207 千葉県鴨川市における大型定置網漁業の時間分析  
○高橋秀行・佐伯公康・長谷川誠三 (水研セ・水産工学研究所)  
渡辺一俊 (水研セ・増養殖研究所)
- 17:00 208 人工魚礁周辺における体サイズの異なるマダイの行動  
○米山和良・高柳諒太・尾城隆紀・山中有一・安楽和彦 (鹿児島大)  
笹倉豊喜 (フュージョン)・藤岡紘 (水研セ・国際水産資源研究所)  
門田実 (近畿大大学院)
- 17:15 209 逆クロスベアリングを用いた超音波バイオテレメトリーシステムの測位精度評価  
○長谷川浩平・宮本佳則・内田圭一・柿原利治 (海洋大)・笹倉豊喜 (フュージョン)

5月19日 (土)

午前

- 09:30 210 宮崎県延岡沖のシラス漁獲量を指標とした豊後水道におけるシラス短期漁況予測の試み  
○行平真也・徳光俊二・西山雅人 (大分県農林水産研究指導センター)  
福田博文・渡慶次力 (宮崎県水産試験場)
- 09:45 211 喫水線上の船型の影響を考慮した向い波中抵抗増加の簡易推定法—第4報: 数式船型に対する短波長入射波近似の計算—  
○升也利一 (水研セ・水産工学研究所)

- 10:00 212 喫水線上の船型の影響を考慮した向い波中抵抗増加の簡易推定法—第5報: 波浪中の造波抵抗について—  
○升也利一 (水研セ・水産工学研究所)
- 10:15 213 ブローチング時の操縦性能の検討  
○横田大武・芳村康男 (北海道大)
- 10:30 214 漁船の岸壁係留張力に関する研究  
○河野景・芳村康男 (北海道大)
- 10:45 215 漁船の波浪中転覆防止用付加物の検討  
○中村充博・芳村康男 (北海道大)
- 11:00 216 有限喫水極小造波抵抗理論における制約条件の影響について—第1報:C<sub>p</sub>カーブの点拘束条件についての考察—  
○升也利一 (水研セ・水産工学研究所)
- 11:15 217 過給機のブロワ翼車の洗浄が燃料消費量に及ぼす影響  
○坂本牧夫・酒井久治・熊谷和哉 (海洋大)
- 11:30 218 漁船への風力発電機導入に伴うエネルギー収支  
○酒井久治・五十嵐慧・関屋千絵子 (海洋大)
- 11:45 219 半導体ジャイロセンサーを用いた航行中における漁船の横揺れ固有周期の計測  
○石井宏明・渡邊豊 (海洋大)

## 5月19日(土)

### 午後

- 13:00 220 ROVシステムによる海底微地形計測システム  
○村越誠 (㈱アーク・ジオ・サポート)・白崎勇一 (㈱マリン・エコ・テック)  
佐々木いたる・川本豪・渡邊康司 (㈱アーク・ジオ・サポート)
- 13:15 221 インターフェロメトリソナーによる底質判別  
○楠浩之・韓軍・小澤守・柳瀬洋輝・池田克彦 (㈱アーク・ジオ・サポート)
- 13:30 222 形状記憶合金型人工筋肉を使用した魚型ロボットの開発  
○須本祐史・重廣律男・鶴田真一郎 (鹿児島大)・山口悟 (九州大大学院)
- 13:45 223 衛生管理型漁港水産物への消費者意識向上のシステムとその効果  
○長野章 (全日本漁港建設協会)・丹羽真 (㈱センク 21)  
本松敬一郎・長野晋平 (日本データサービス㈱)
- 14:00 224 漁業集落排水施設における硫化水素の発生と長寿命化へのリスク  
○朝倉由紀子・大賀之総・中村隆・伊藤靖 (漁港漁場漁村技術研究所)  
広島基 (漁村水環境研究会)
- 14:15 225 生物共生護岸による水産資源の保全  
○田中ゆう子・鈴木秀男 (東亜建設工業㈱)
- 14:30 226 屋根付岸壁における日射防止の効果について  
○本山賢司・佐藤 仁 (土木研究所)・鎌田昌弘 (㈱アルファ水工コンサルタンツ)
- 14:45 227 漁港建設会社のBCPと東日本大震災における検証と課題  
須田輝夫・松谷芳信 (㈱丸本組)・鈴木光雄・○長野章 (全日本漁港建設協会)

- 15:00 228 東日本大震災における漁港復旧工事の支援システム構築  
○田原正之・鈴木光雄・長野章（全日本漁港建設協会）
- 15:15 229 あなご筒漁対象とした画像解析による漁獲物体長測定を試み  
○南場敬志・内田圭一・吉田空久・宮本佳則・柿原利治（海洋大）
- 15:30 230 気温の変動を用いた水温の変動の推定について  
○藤田伸二（長崎大）・松村一弘・小林孝紀（北海道立工業技術センター）  
中崎清彦（東京工業大大学院）・田島健次（北海道大大学院）・曾根謙一（愛媛県庁）
- 15:45 231 砂浜海岸汀線域における簡便な漂砂挙動の推定法  
○梶原直人（水研セ・瀬戸内海区水産研究所）・高田宜武（水研セ・日本海区水産研究所）
- 16:00 232 小空間スケールにおけるアサリの分布に対する波浪環境評価  
○南部亮元・桑原久実（水研セ・水産工学研究所）
- 16:15 233 赤潮発生時のアサリ消化管内容物の動態について～三河湾一色干潟を例に～  
山田智・竹内喜夫（愛知県水産試験場）・○新村陽子（海洋プランニング）  
石樋由香（増養殖研究所）
- 16:30 234 武蔵堆周辺海域におけるスケトウダラ当歳魚の餌料環境に関する一考察  
○河合浩・大橋正臣・山本潤（土木研究所）・林田健志・村上俊哉（㈱エコニクス）  
西田芳則（北海道立総合研究機構・中央水産試験場）
- 16:45 235 鵜川・沙流川の夏季出水が周辺海域に及ぼす影響を把握する試み  
○須藤賢哉・大橋正臣・山本潤（土木研究所）
- 17:00 236 CGT(Compensated Gross Ton)を用いた漁船造船所の仕事量分析と将来漁船の  
設計の方向性の検討 ○三好 潤（水研セ・水産工学研究所）